

会 議 録		令和 5 年12月11日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府川端警察署協議会（令和 5 年度第 3 回）		
開催日	令和 5 年12月 8 日（金曜日）		
時 間	午後 2 時50分から午後 5 時までの間（ 130分）		
場 所	京都府川端警察署 講堂		
出席者	今江副会長、太田委員、金丸委員、二之部委員、船木委員、古川委員 （欠席 今村会長） 計 6 人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、 広聴・相談係長 計 8 人		
諮 問 事 項	地域ニーズの把握と、地域問題を解決する活動の推進状況について		
会 議 内 容	<p>1 副会長挨拶 司会 副署長</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 新任警察署幹部紹介</p> <p>4 前回の警察署協議会での要望に対する取組状況</p> <p>(1) 外国人観光客を対象とした幹線道路での乱横断対策</p> <p>申出の丸太町通の岡崎神社バス停周辺は、東西直近に横断歩道が既設しており、この場所での横断歩道の増設はできない。</p> <p>外国人向けの乱横断防止の啓発幕がないことから、川端交通安全協会と協働で新たに横断幕を製作することとした。</p> <p>京都府警察通訳センターに、乱横断禁止の文面を依頼したところ、禁止表現よりも、「横断歩道を使用しよう」という表現の方がふさわしいとの意見があり、そのとおりの表現を採用した。</p> <p>この横断幕を申出場所のガードレールに設置して、外国人観光客による乱横断を戒め、交通安全を確保していきたい。</p> <p>(2) 白川今出川交差点を南行する車両の速度超過対策</p> <p>白川通は天王町交差を起点とし、おおむね南方から北方に向け信号が順次青色に変わるように設定されている。従って、白川今出川から南行して信号発進する車両は、先の交差点の信号も青色になっていることが</p>		

多く、信号が変わる前に通過しようと、不用な加速をする可能性がある。

信号サイクルは周辺道路での安全かつ円滑な通行を確保するため、複数の信号機が連動するよう設定しており、申出の交差点のみを変更することは困難である。

よって、本件申出に対しては、交通違反の取締りや指導警告、交通啓発活動を実施することにより、安全を確保していきたい。

(3) 薄暮時における寺院内での少年の喫煙対策

9月に委員から要望を受け、すぐに地域警察で情報共有し警戒警ら強化したところ、10月中に寺院内で喫煙する少年7人を補導した。

今後も街頭活動を継続し、この種の非行少年の補導に努めたい。

5 協議

司会 副会長

(1) 諮問事項説明

地域ニーズの把握と、地域問題を解決する活動の推進状況について
～地域課長

【委員】勤務先の近くの駐車場で、不審な車両をよく見掛ける。彼らが具体的に何らかの犯罪に関わっている様子は見えないが、このような場合、どこに通報すれば良いか。警察で対応してくれるのか。

会 議
内 容

【警察】委員御指摘の件は当署でも把握しており、交番勤務員に警戒警らを強化するよう指示している。今後対象者を発見し、何らかの犯罪に関わっていることが明らかになれば、適切に処理し、その結果をお知らせする。

【委員】集合住宅での騒音苦情で、昔は被迷惑者が壁を叩き、行為者に直接注意することもあったが、今はどんなことでも警察に頼むような風潮になってきている。このような近隣間のトラブルでは、直接注意すべきか、警察へ通報すべきか、どちらが良いか。

【警察】世知辛い世の中になり、昔は許されたことも、今ではトラブルの元となったりすることもある。また、直接注意すれば、逆に言い掛かりを付けられ、被迷惑者側が悪者となるおそれもある。

住民の困りごととして、警察が介入し処理することで無用な紛議も避けられる。このように、その時の場所や状況に応じて適切に対応していきたい。

【委員】以前、郵便局があった場所が、現在は空地となっており、ここに、防犯登録のある放置自転車がある。タイヤがパンクしていたり、蜘蛛の巣が張っていたりして、長期間放置されているようだが、その場所に自転車があることで、バイクが駐輪されることもある。

【警察】警察が自転車を確認し、盗難被害品であれば警察から被害者に返還する。盗難被害品でなければ、土地管理者に処分をお願いする。

こういった情報は警察にとって非常にありがたい。自転車盗の被害者に早く返還するためにも、気軽に通報してほしい。

(2) その他

【委員】鹿ヶ谷通を散歩していると、駐車車両を追い越す際、一般車両のほとんどが何の合図もしないが、パトカーは方向指示器を動作させ確実に合図をしている。交通量がそれほど頻繁ではない道路でも、しっかりとルールに則った運転をしているのは頼もしく感じる。

【警察】引き続き、府民の模範となるような運転に努めていく。

【委員】南禅寺前の交差点では、南禅寺参道から仁王門通まで出るのに信号サイクルが短く、観光客の横断も途切れないため、自動車が渡り切れず、渋滞の原因となっている。

信号サイクルを変更するか、自動車と歩行者を分離する信号にしてはいかがか。

【警察】南禅寺参道から出る信号サイクルを延ばせば、交通量の多い白川通や仁王門通に多大な影響が出るため、信号サイクルを変えることは難しい。また、歩車分離信号は、交通量や横断歩行者数、交通事故の発生状況等を検討する必要がある、現状では設置できない。

【委員】南禅寺周辺は歩道の狭さもある。歩行者は歩道と車道の境目のぎりぎりを歩いており、自動車で通行する際にも気を遣う。歩道幅を広げることにはできないか。

【警察】歩道の拡幅は物理的に難しい。周辺の道路環境における一つの問題点として認識し、今後長期的な改善計画を策定する際の検討素材としたい。

6 事務連絡

令和5年度第4回の警察署協議会は2月上旬の開催予定である。

以上

会議
内容

第3回京都府川端警察署協議会の開催状況

